

対象プログラム/科目

名称	夏季集中日本語プログラムK
----	---------------

社会的背景  
(促進要素  
・制約・条  
件など)

(どのような社会的ニーズがありますか。)

大学のグローバル化実践  
学生交換留学制度の受入れプログラム

使命

目標

実績

(あなたの組織・言語教育プログラムの使命(ミッション)は何ですか。)

留学生の日本語能力向上  
留学生の日本文化・社会理解の促進  
本学学生への国際交流意識啓蒙

(言語教育活動の目標は何ですか。)

教科書で学んだ知識としての日本語を実践的なコミュニケーションで使えるようにする  
歌舞伎や能のようなハイカルチャーではなく、普通の日本人の暮らしぶり、価値観を体験を通して理解する

(これまでにどのような実績がありますか。)

1994年より継続して実施。参加者総数500名以上。  
日本で働く元参加者も居る。6~7名は、本学の併設校(K高専)の教員(機械工学や電気・電子工学授業などを担当)として活躍している

対象プログラム/科目

名称 夏季集中日本語プログラムKI

【構成要素】

ヒト(関係者)

<p>◎ 教育・支援スタッフ</p>	<p><b>種類・役割:</b>どのような教員/支援担当者(コーディネーターなど)がいますか。それぞれの役割分担はどうなっていますか。 専任教員1名:カリキュラム/時間割作成、授業+学外活動計画、授業担当 非常勤講師3~4名:授業担当、学生の生活管理一部</p>	<p><b>活動の指針となる考え・方法:</b>どのようなことをスタッフで共有していますか。 テキストは用いず、毎週の活動を題材にして、既習事項を復習。知識としての日本語を使えるものにする。 JSLの環境を最大限に活用する。</p>
<p>◎ 運営スタッフ</p>	<p><b>種類・役割:</b>どのような運営担当者(事務担当など)がいますか。それぞれの役割分担はどうなっていますか。 留学支援課職員4名:学生募集、受入れ手続き、学生&amp;非常勤教員宿舍手配+管理、経理業務 専任教員(上記1名):責任者、全体管理(人事関係含む)、協定校とのやりとり</p>	<p><b>運営スタッフのニーズ:</b>プログラムや学習者に対してどのようなことを期待していますか。 このプログラムは、留学生のためだけではない。本学学生も留学生との交流を通していろいろなことを学ぶ機会となつてほしい。そのために、協力ボランティアなどを募集して、留学生とじかに交流できる機会を提供する。</p>
<p>◎ 学習者</p>	<p><b>種類・特徴:</b>どのような学習者(正規生、聴覚生、受検者など)がいますか。それぞれのプロフィール(背景・特性等の特徴)はどのようなものですか。 米國協力協定校からの派遣学生を科目等履修生として受入れ 理工系の専攻、日本語学習歴1~2年</p>	<p><b>学習者のニーズ:</b>プログラムや日本語学習等に対してどのようなニーズがありますか。 これまでの参加者からの情報をもとに、ここでは本学学生と密に交流をして、インフォーマルスタイルも含む日本語が話せるようになることを期待している。 一部の学生は、本学で取得した単位を、自校での副専攻などの単位としてトランスファーする</p>
<p>◎その他:上記以外でプログラムの運営に際し考慮すべき立場の関係者・関係組織 (例えば、学校経営者、組織長、行政の担当者、予算配分者など)</p>		
	<p><b>種類・関わり方:</b>どのような立場の人や機関がありますか。それぞれどのように関わっていますか。 経営者:経費負担 学内事務担当部署:入試センター、教務、修学 学内施設部 米國協定校:学生交換としての取り組み</p>	<p><b>各関係者のニーズ:</b>プログラムに対してどのようなニーズがありますか。 協力協定校との学生交換としての位置づけ 本学での主たる国際交流活動の一つとしての位置づけ</p>

情報(知識・経験なども含む)の共有

	共有範囲:次の種類の情報などのような人々と共有していますか。	共有方法:次の種類の情報などのような方法で共有していますか。
学習者に関する情報	入試センター、教務課、修学相談室	口頭、電話、メールなどでの連絡/依頼
カリキュラム・成績に関する情報	教務課	口頭、電話、メールなどでの連絡/依頼
教育・活動方法に関する情報	教務課	定型書類での手続き
設備・施設等に関する情報	施設部	口頭、電話、メールなどでの連絡/依頼
プログラム評価(方法・結果等)に関する情報	特になし	
関係者・組織に関する情報	人事課	口頭、電話、メールなどでの連絡/依頼
予算に関する情報	経理課	口頭、電話、メールなどでの連絡/依頼
その他の情報	学内インターンシップ受け入れ先(図書館、スポーツ考房、夢考房、学生生活課)	口頭、電話、メールなどでの連絡/依頼

モノ(施設・設備)

<p><b>学習者用:</b>どのような施設(ラウンジ、LL、図書館、自習室など)設備(コンピュータ、給湯、給電、教科書/教材、など)がありますか。 留学生ラウンジ、24時間オープン自習室 個人への貸し出しPC 希望者に自転車</p>	<p><b>教師・学習支援者用:</b>どのような施設(教員室、教材用図書室、など)設備(コンピュータ、給湯、教科書/教材、など)がありますか。 非常勤講師用オフィスデスク、給湯、電子レンジ 個人への貸し出しPC、共用プリンター、コピー機、スキャナ 希望者に自転車</p>
---	--

カネ(予算・資金)

<p><b>十分な予算・資金が確保されていますか。(十分でない場合は、何のための予算が必要ですか。)</b> 交換留学生の授業料・宿舍代のパートナー(互いに同額を負担しているものとして、現金の送金はしない前提)が基本。しかし、こちらの受入れプログラムは、短期に多人数を受け入れるので、特別プログラムを開講する必要がある。且つ、その担当者を米國から招へいしている。(航空運賃大学負担)そうしないと、年間6週間(十前後各1週間=計8週間)だけの教員確保は難しい。 現状では、経理から節約を指示をうけつつも、必要予算額は毎年確保できている。 ただし、見学先原料なども本学が負担しているため、活動が制限されている。(今後、参加者から活動費を徴収することも検討中。それができれば活動の選択肢が広がる。)</p>
--

外部の関連団体・プログラム

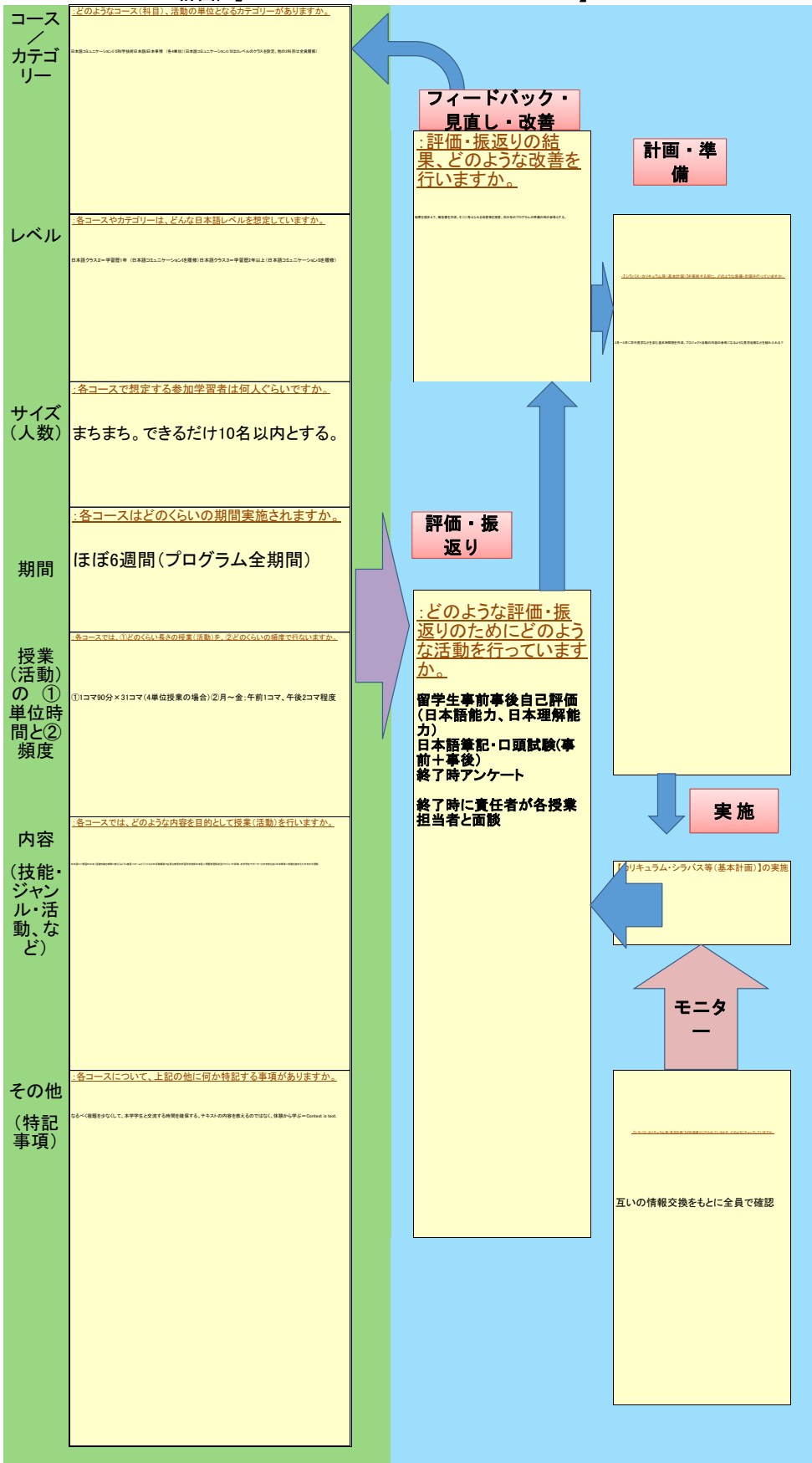
<p><b>種類・関係:</b>どのような団体やプログラムなどがありますか。それぞれどのように関連していますか。 特になし</p>
---

対象プログラム/科目

名称 夏季集中日本語プログラムKI

【カリキュラム・シラバス等（基本計画）】

【活動】



対象プログラム/科目

名称	夏季集中日本語プログラムKI
実施期間	年 月 ~ 年 月

利用の目的

<input type="checkbox"/> プログラムの全体像を把握する	<input type="checkbox"/> プログラムの現状を把握する。
<input type="checkbox"/> 問題を特定する。	<input type="checkbox"/> 過去のプログラムを振り返る。
<input type="checkbox"/> プログラムについて説明する。	<input type="checkbox"/> 新しいプログラムを作る
その他( )	

記入員に寄せたい人

<input type="checkbox"/> 内部者(具体的に: )
<input type="checkbox"/> 外部者(具体的に: )
<input type="checkbox"/> その他(具体的に: )
(自分のみ)

社会的背景

【促進要素・制約・条件など】  
(どのような社会的ニーズがありますか。)  
大学のグローバル化実績  
学生交換留学制度の受入れプログラム

使命	目標	実績・記録
あなたの組織・言語教育プログラムの使命(ミッション)は何ですか、 留学生の日本語能力向上 留学生の日本語・文化・社会理解の促進 本学学生への国際交流意識啓蒙	目標(言語教育活動の目標は何ですか。) 教員間で学んだ知識としての日本語を実践的なコミュニケーションで伝えるようになる 教員や他のようなハイカルチャーではなく、普通の日本人の暮らしぶり、価値観を体験を通して理解する	(これまでどのような実績がありますか。) 1984年より継続して実施。参加者数800名以上。 日本で働く希望者も出る。677名は、本学の専攻科(工学専攻)の教員(機械工学や電気・電子工学専攻などを担当)として活躍している

【構成要素】

【カリキュラム・シラバス等(基本計画)】

【活動】

